

平成24年2月2日

No. 12 - 015

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

地域間の交流拡大が期待される四国横断自動車道の宇和島延伸

～ 四国横断道西予宇和 IC 宇和島北 IC 間開通に関するアンケート結果～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 山崎 正人）では、このたび下記のとおり、四国横断自動車道の西予宇和 IC（インターチェンジ） - 宇和島北 IC 間の開通に関して、松山圏域と宇和島圏域で実施したアンケート結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。なお、調査結果の詳細は、2012年3月1日発行の「調査月報IRC・2012年3月号」に掲載いたします。

記

【調査概要】

四国横断自動車道の西予宇和 IC - 宇和島北 IC 間の開通に伴い、松山圏域と宇和島圏域の在住者の利用意向や目的などを把握するため、2011年12月に伊予銀行の支店窓口等を通じてアンケートを実施し、289名から回答を得た。

【調査結果要旨】

1. 高速道路開通後の移動回数の変化について、「増えると思う」と回答した人の割合は、松山圏域在住者が37.6%、宇和島圏域在住者は43.9%だった。
2. 移動回数が「増えると思う」と答えた人に、移動目的を尋ねたところ、松山圏域在住者は「観光・レジャー」が91.5%と多かった。宇和島圏域在住者では「買い物」93.1%、「観光・レジャー」52.8%などが多かった。
3. 宇和島圏域在住者で「買い物」が増えると答えた人にその場所を尋ねたところ、「エミフルMASAKI」が75.0%で最多、「松山市の中心商店街、百貨店」は61.8%だった。
4. 宇和島圏域在住者にとって宇和島延伸の評価を見ると、「大いに歓迎する」が65.9%、「まあまあ歓迎する」が20.7%だった。また、「歓迎する」と答えた人に期待する効果を尋ねたところ、「移動時間の短縮（93.0%）」、「渋滞の減少（27.5%）」、「観光振興（23.9%）」、「経済・産業の活性化」（21.8%）などが多かった。「災害時のう回路、救援路」との回答は7.0%にとどまった。

以上

はじめに

本年3月に四国横断自動車道の西予宇和IC宇和島北IC間が開通予定である。IRCでは、今回の開通に伴い、松山圏域および宇和島圏域在住者の利用意向や目的などを把握するため、アンケートを実施した。アンケートの概要、回答者の属性は以下のとおりである。

アンケートの概要	
1. 調査対象	松山圏域（松山市、伊予市、東温市、砥部町、久万高原町）宇和島圏域（宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町）在住者
2. 調査日	2011年12月
3. 調査方法	伊予銀行の支店窓口等での調査票配布、郵送・FAXによる回収
4. 回答状況	配布数 420 有効回答数 289 有効回答率 68.8%

回答者の属性	
1. 居住地	松山圏域 43.3% 宇和島圏域 56.7%
2. 性別	男性 37.0% 女性 63.0%
3. 年齢	19歳以下 17.7%、20歳代 16.2%、 30歳代 25.4%、40歳代 17.7%、 50歳代 15.4%、60歳以上 4.6%、 無回答 3.1%
4. 職業	会社員・公務員 55.7% 自営業 6.6% 農林漁業 2.1% パート・アルバイト 19.7% 専業主婦 5.5% 無職 6.9% 学生 0.7% その他 2.4% 無回答 0.3%

注) 割合は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならないことがある(以下同じ)。

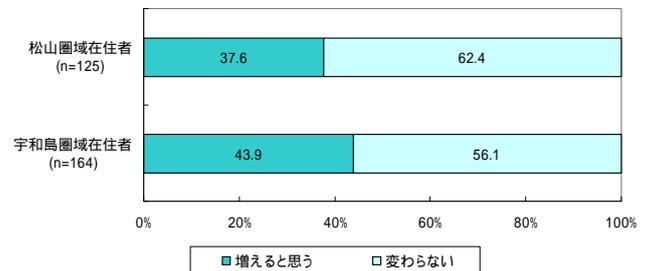
1. 移動回数・移動目的

(1) 移動回数の変化

本区間開通後に予想される松山から宇和島、または宇和島から松山への移動回数の変化について尋ねたところ、「増えると思う」という回答が松山圏域在住者で37.6%、宇和島圏域在住者

で43.9%だった。(図表-1)。

図表-1 開通後の宇和島または松山方面への移動回数の変化

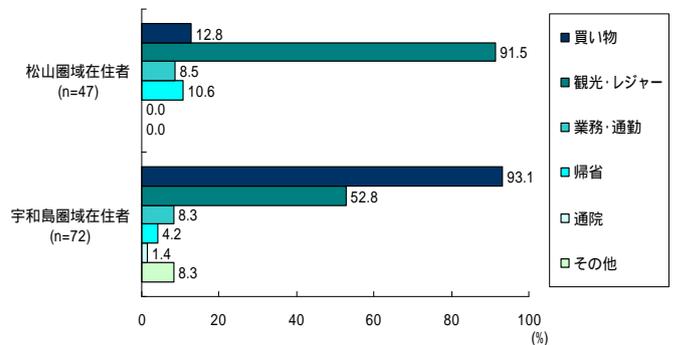


(2) 移動の目的

「移動回数が増えると思う」と回答した人に対してその目的を尋ねたところ、松山圏域在住者では、「観光・レジャー」が91.5%だった。

宇和島圏域在住者については、「買い物」(93.1%)、「観光・レジャー」(52.8%)などが多かった(図表-2)。

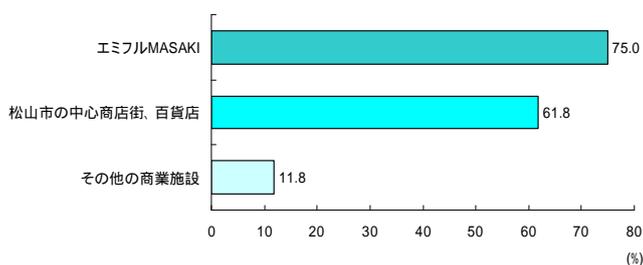
図表-2 開通後増えると思われる移動目的(複数回答)



(3) 買い物する場所(宇和島圏域在住者)

前問で、宇和島圏域在住者のうち「買い物」と答えた人に「買い物に行くことが増えると思われる場所」を尋ねたところ、松前町の大型ショッピングセンター「エミフルMASAKI」が75.0%で最多、「松山市の中心商店街、百貨店」が61.8%、「その他の商業施設」が11.8%だった(図表-3)。

図表-3 買い物に行くことが増えると思われる場所 (n=67、複数回答)

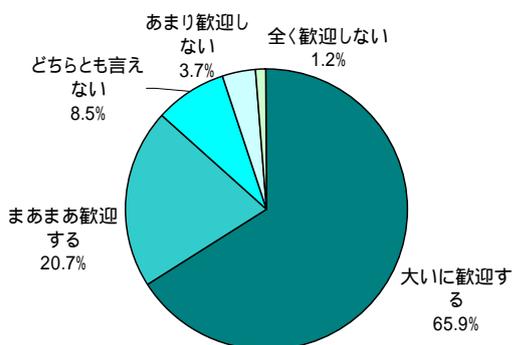


2. 宇和島延伸に対する評価

(1) 評価

宇和島圏域在住者に、今回の宇和島延伸についての評価を尋ねたところ、「大いに歓迎する」が65.9%、「まあまあ歓迎する」が20.7%で、合わせて9割近い人がプラスの評価を行った(図表-4)。

図表-4 宇和島圏域在住者の高速道路開通に対する評価 (n=164)

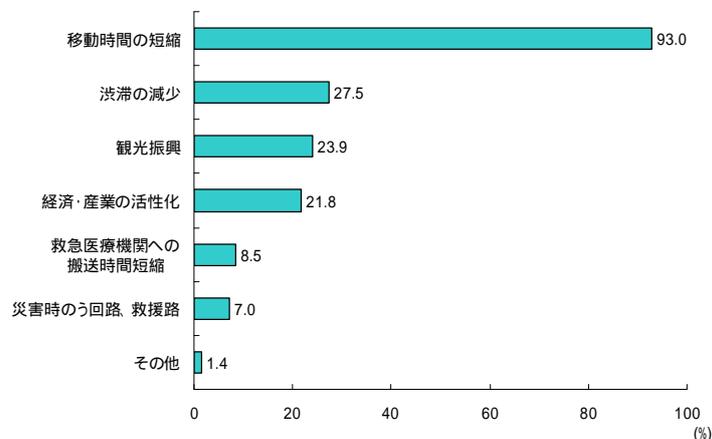


(2) 期待する効果

前問で、「大いに歓迎する」「まあまあ歓迎する」と答えた人に「期待する効果」について尋ねたところ、「移動時間の短縮」が93.0%で最多となった。以下、「渋滞の減少」(27.5%)、「観光振興」(23.9%)、「経済・産業の活性化」(21.8%)などとなった。南予地域において高速道路は、想定される東南海・南海地震発生時のう回路・救援路としての機能を担っているが、今回のア

ンケートでは、「災害時のう回路、救援路」との回答は7.0%にとどまった(図表-5)。

図表-5 宇和島圏域在住者が開通に期待する効果 (n=142、複数回答)



なお、自由意見として、圏域外(松山圏域など)への消費流出(ストロー効果)や、高速道路が通らない宇和島市吉田地区の経済・産業の衰退を懸念する意見もみられた。

おわりに

今回のアンケートでは、四国横断道西予宇和IC-宇和島北IC間の開通によって松山圏域と宇和島圏域の地域間交流が増えそう、との結果が得られた。また、宇和島圏域在住者にとって、延伸に対する評価や期待は高く、南予や宇和島圏域の経済・産業、沿線住民の生活に大きなインパクトを与えられると思われる。

特に、高速道路の開通と4月から開催される宇和島圏域の観光振興イベント「えひめ南予いやし博2012」も相まって、交流人口の拡大や観光振興が期待される。

(新藤 博之)